

有害性評価支援システム統合プラットフォーム (HESS)の概要と操作説明

> (独) 製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター 渡邉美智子



HESS及びHESS DBとは

- ▶ 化学物質をグルーピングし、未試験化学物質の反復投与毒性を リードアクロスにより評価することを支援するシステム
- ➤ OECD QSAR Toolboxと類似のシステム構成
- ▶ 反復投与毒性試験データの要約及び毒性発現のメカニズムに関する情報などを収載
- ➤ HESSからHESSDBへ直接リンクが可能
- ➤ NITEのHPから無料で公開 (https://www.nite.go.jp/chem/qsar/hess.html)



反復投与毒性試験

目的:動物に被検物質を一定期間毎日反復投与したときに現れる生体の機能及び 形態の変化を観察することにより、被検物質の毒性を明らかにする。



剖検所見

組織学的検査

無影響量(NOEL)No Observed Effect Level 無毒性量(NOAEL)No Observed Adverse Effect Level

反復投与毒性とリードアクロス

- ➤ 反復投与毒性は、全身を対象とした多くの観測事項があり、毒性発現のメカニズムも複雑。よって、化学構造との毒性の相関関係が得られにくく、統計的なQSARモデルの作成は困難
- ▶ 反復投与毒性を予測する最も実用的な手法は、メカニズム情報を用いたリードアクロス(カテゴリーアプローチ)と考えられている※
- 反復投与毒性のリードアクロスは、各国の研究開発プロジェクト等において 検討が進められている
 - HESSプロジェクト (2007-2011、日本)
 - SEULAT-1 (2011-2015、EU)
 - EU ToxRisk (2016-2021, EU)
 - OECD IATA Case Studies Project (2015-\(\cdot\) OECD)



「構造活性相関手法による有害性評価手法開発」

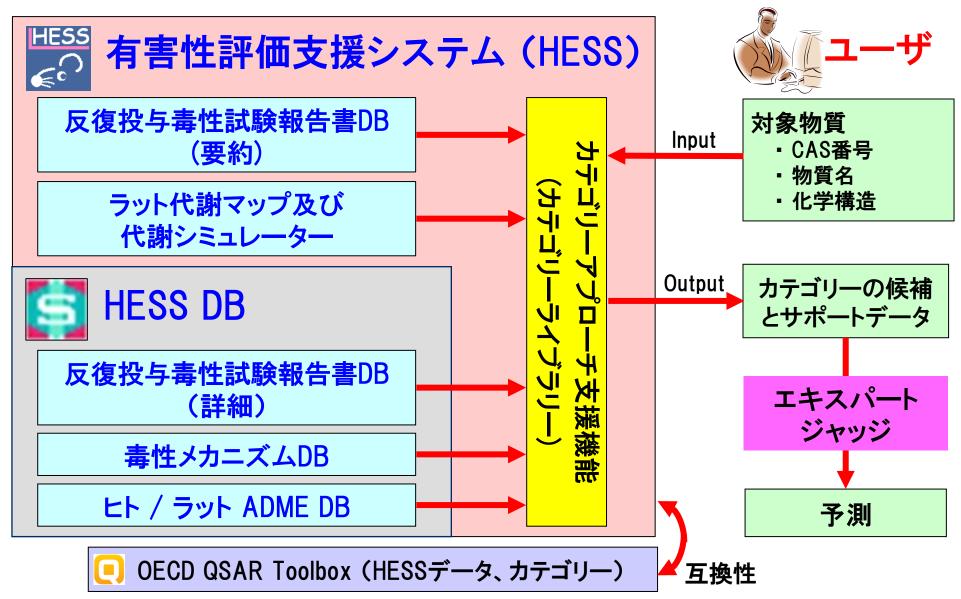
実施期間:平成19年度~平成23年度

基本計画:化学物質のリスク評価におけるヒト健康影響の評価において、安全性試験データがない化学物質に、類似物質からのカテゴリーアプローチ等の手法により反復投与毒性を推定できるよう必要となる判断材料を評価者(専門家)に提供するデータベース及び評価支援システムを開発する。

開発方針:

- 専門家の判断をサポートするためのシステムを開発する。
- ・毒性、病理の専門家の主導によりシステムを開発する。
- ・ 国際的に利用されるシステムの開発を目指す(OECDと連携)。

HESSの構成



HESSに収載されている情報



HESSに収載されているSub database

Ver.4.5(2024年)

Sub database名	物質数	物質群	備考
Biomarker	150	化学物質	バイオマーカー情報
COSMOS	852	化粧品	欧州化粧品データ
Drug Repeated Dose Toxicity	50	医薬品	国内医薬品データ
HESS RDT DB (HPV)	130	化学物質	
HESS RDT DB (Inhalation)	33	化学物質	吸収試験データ
HESS Repeated Dose Toxicity	765	化学物質	化審法既存点検データ、NTP短期、NTP長期等
HESS Repeated Dose Toxicity (CSCL New chemical)	449	化学物質	化審法新規化学物質データ
TGP Repeated Dose Toxicity	124	医薬品	国内医薬品データ
Tox-Omics RDT DB	31	化学物質	経産省委託
ToxRef DB	477	農薬	米国の農薬データ
合計	3061		

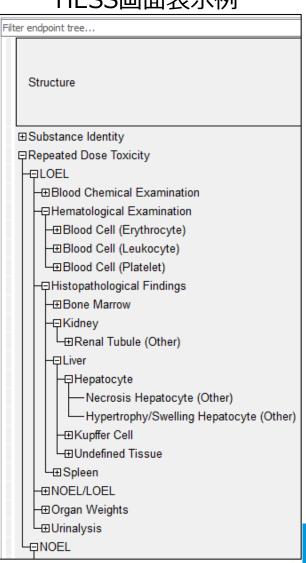
下線がついたデータベースは、詳細な試験報告書(HESS DB)があるもの。 黄色マーカーがついたデータベースは、QSAR Toolboxにも収載されているもの。



HESSにおける反復投与毒性試験データのデータ構造

NOEL/LOEL NOEL/LOEL 34 Findings **General signs NOEL/LOEL** 28 Findings **FOB NOEL/LOEL** 27 Findings **Urinalysis** 約500種類の 所見で表現 NOEL/LOEL 38 Findings Hematological exam. **NOEL/LOEL** 47 Findings Blood chemical exam. 14 Organs **NOEL/LOEL** 57 Findings **Organ weights** NOEL/LOEL 23 Organs 49 Findings **Necropsy** 28 Organs NOEL/LOEL Histopathological exam. 195 Findings **NOEL/LOEL** Other exam.

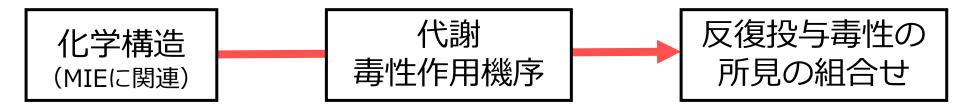
HESS画面表示例





HESSにおける反復投与毒性のカテゴリー

反復投与毒性における Adverse Outcome Pathway (AOP)

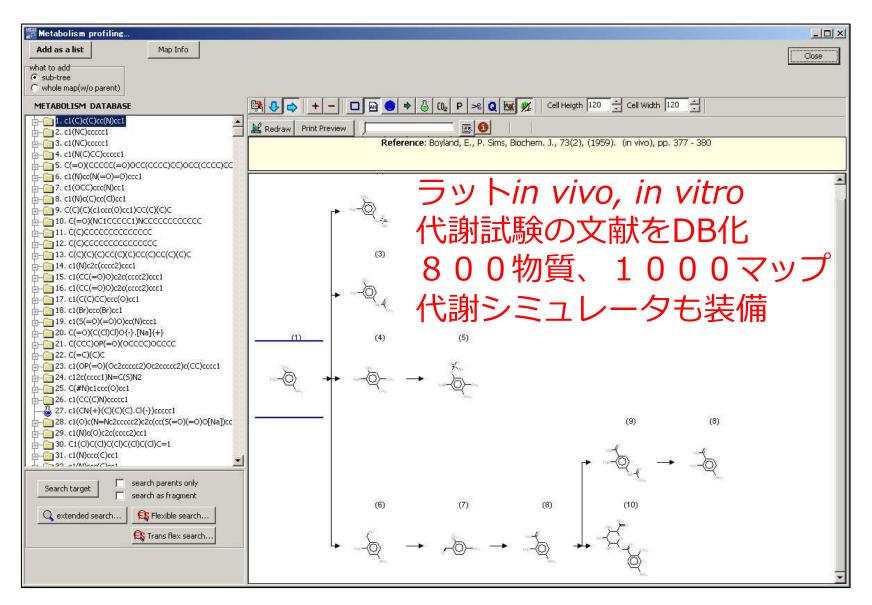


- ① 化学構造上の特徴
- ② 毒性のメカニズム
- ③ 反復投与毒性試験における毒性発現の傾向(毒性強度等)

類似する物質群

「Repeated dose(HESS)」カテゴリー、260分類(カテゴリー;69、アラート;191) 現在も、追加検討中。

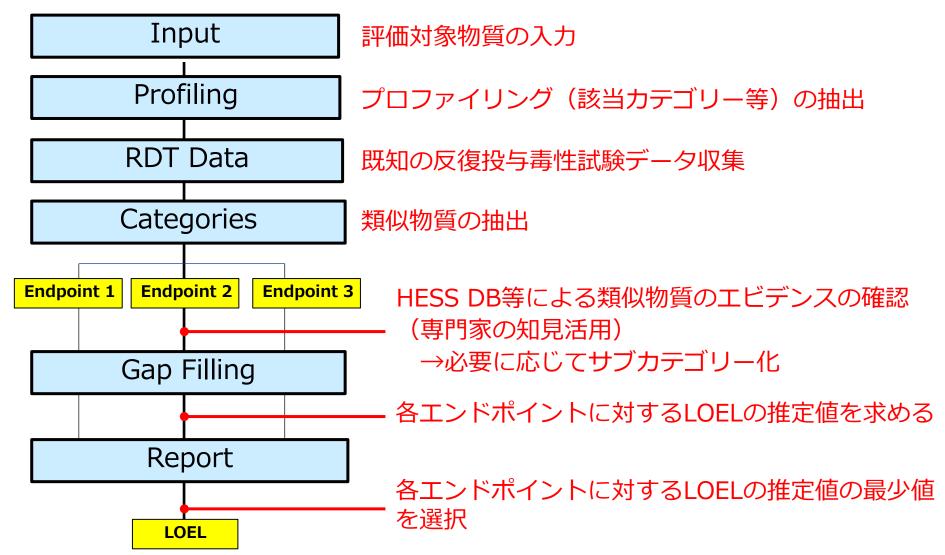
ラット代謝マップDB:代謝マップ



HESS の操作説明 Read-acrossによる反復投与毒性の予測



HESSによる反復投与毒性のデータギャップ補完のワークフロー(OECD Toolboxに準拠)



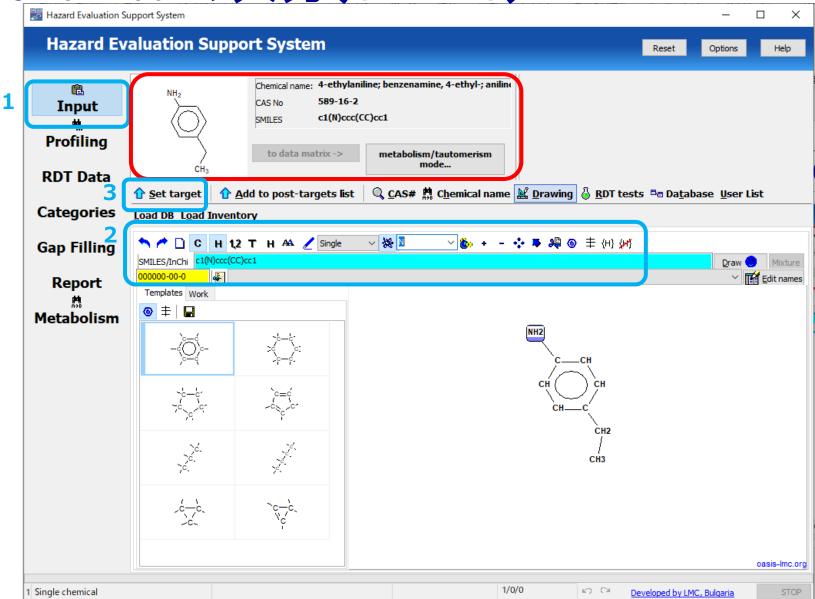
Case study 1:

Anemia for 4-ethylaniline

(CAS RN: 589-16-2)

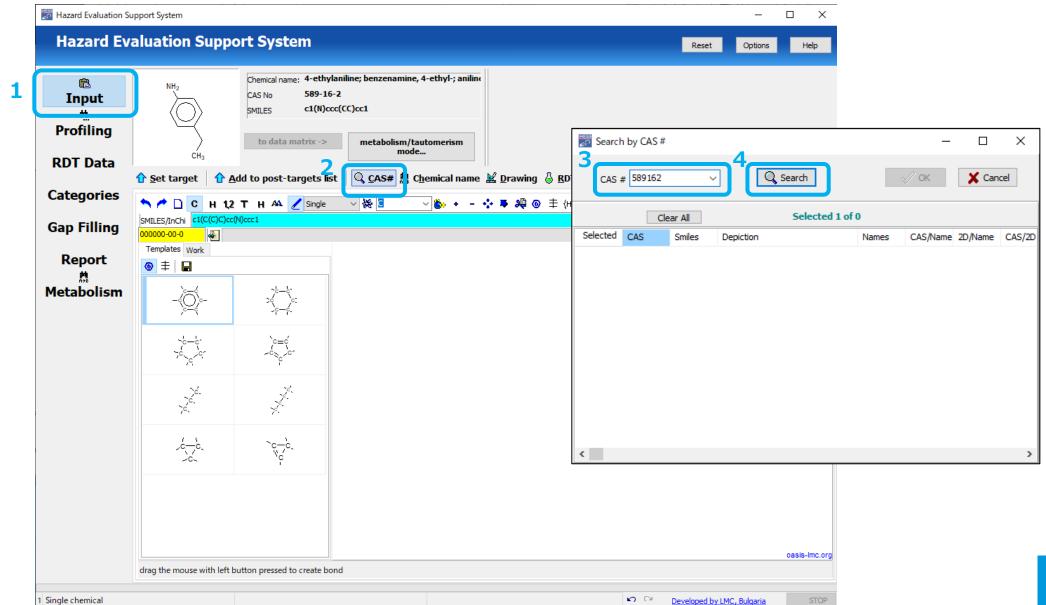


Target Chemicalの入力(SMILES)

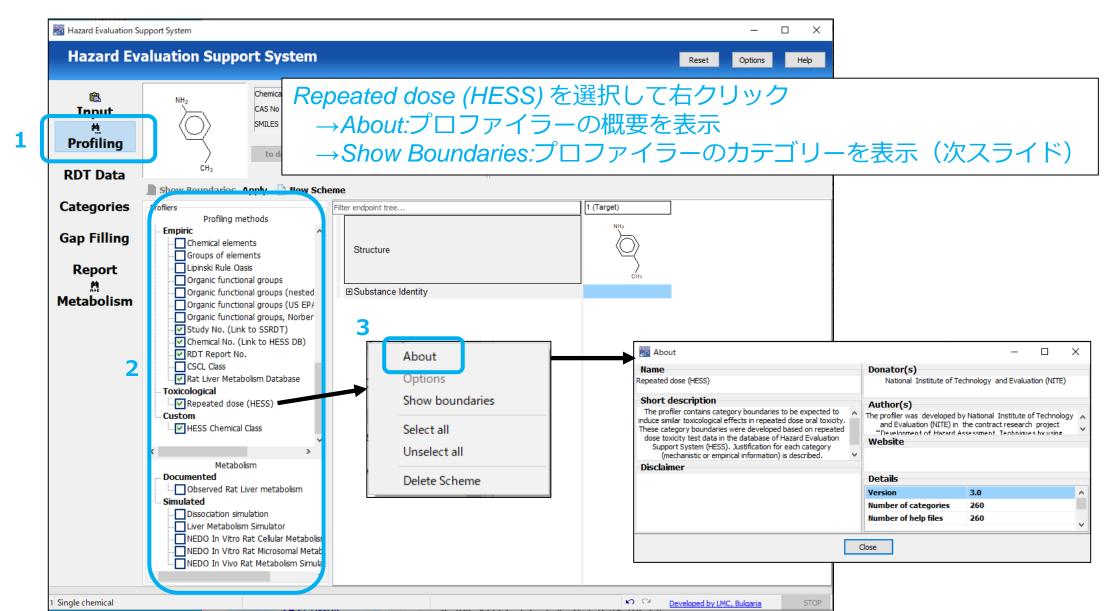




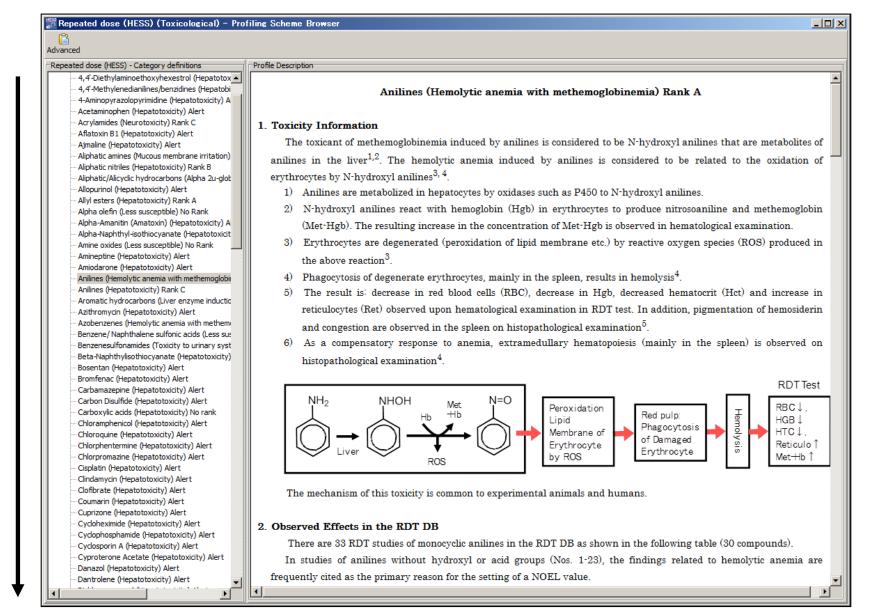
Target Chemicalの入力(CAS)



Target Chemical のプロファイリング



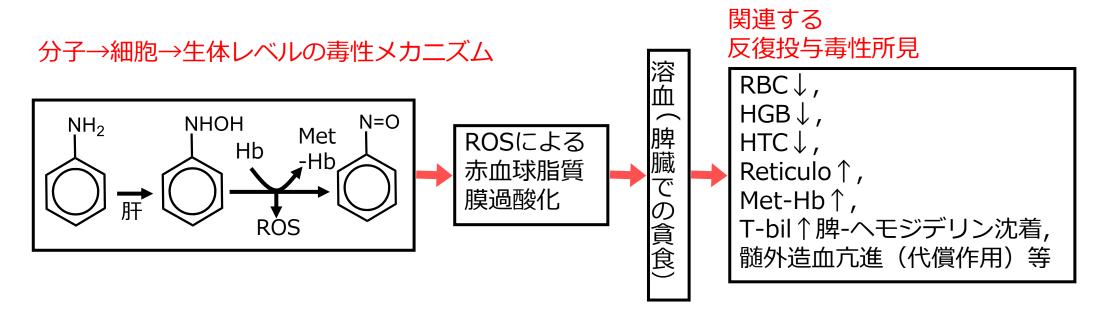
プロファイルの詳細表示



約260種類の 構造-毒性情報



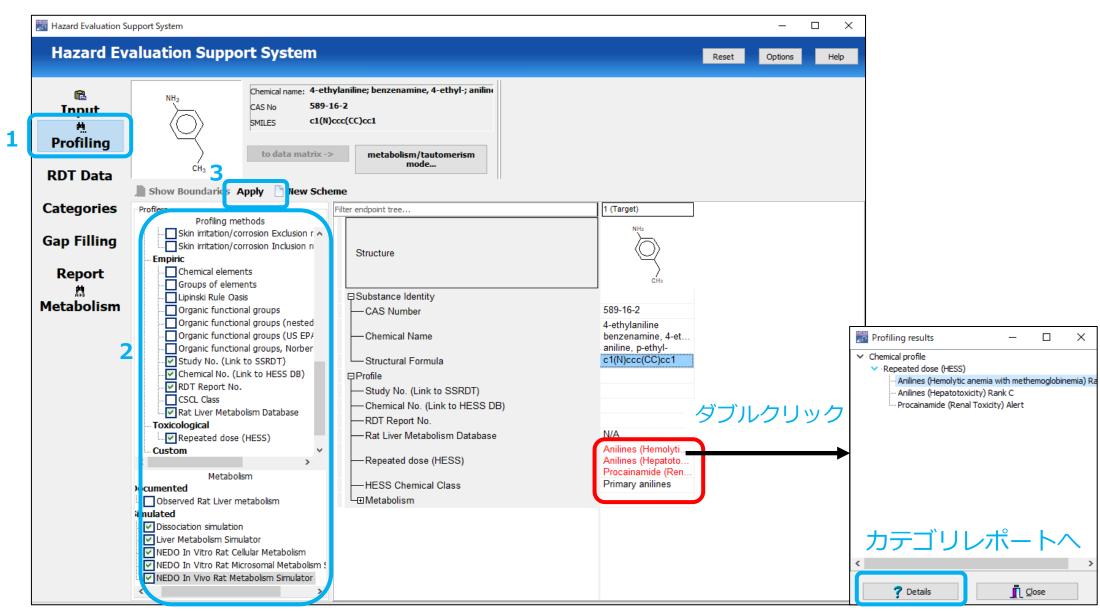
アニリン類の溶血性貧血カテゴリー



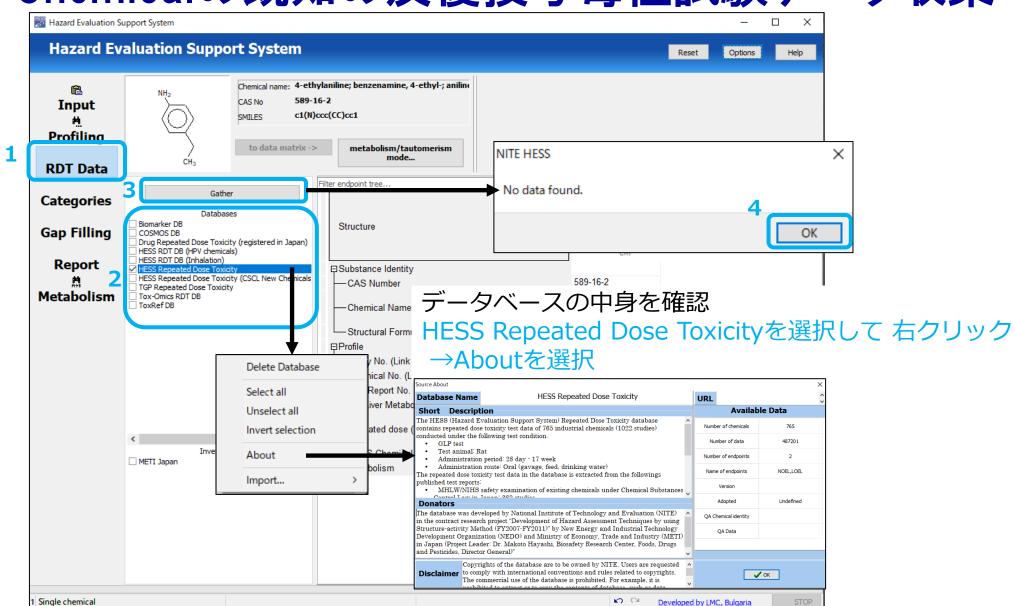
$$R_2$$
 R_1 R_2 R_3 R_4 R_6 R_6 R_8 R_8

プロファイルの詳細には、30物質の単環アニリンの反復投与試験結果がまとめられている。

Target Chemical のプロファイリング



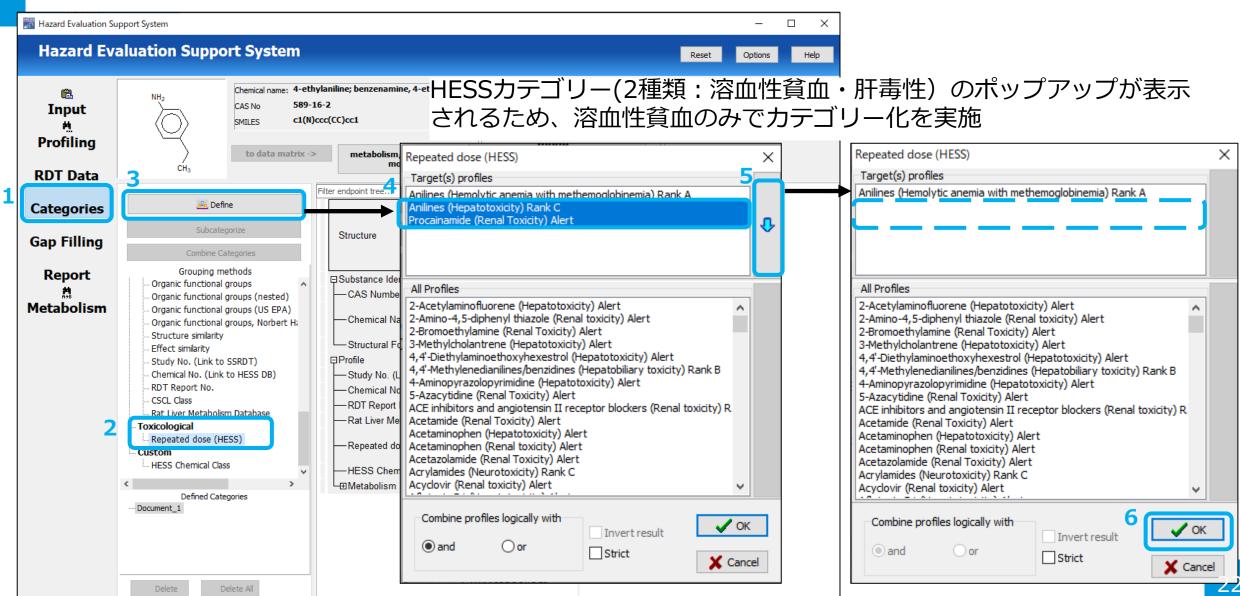
Target Chemicalの既知の反復投与毒性試験データ収集



Categories

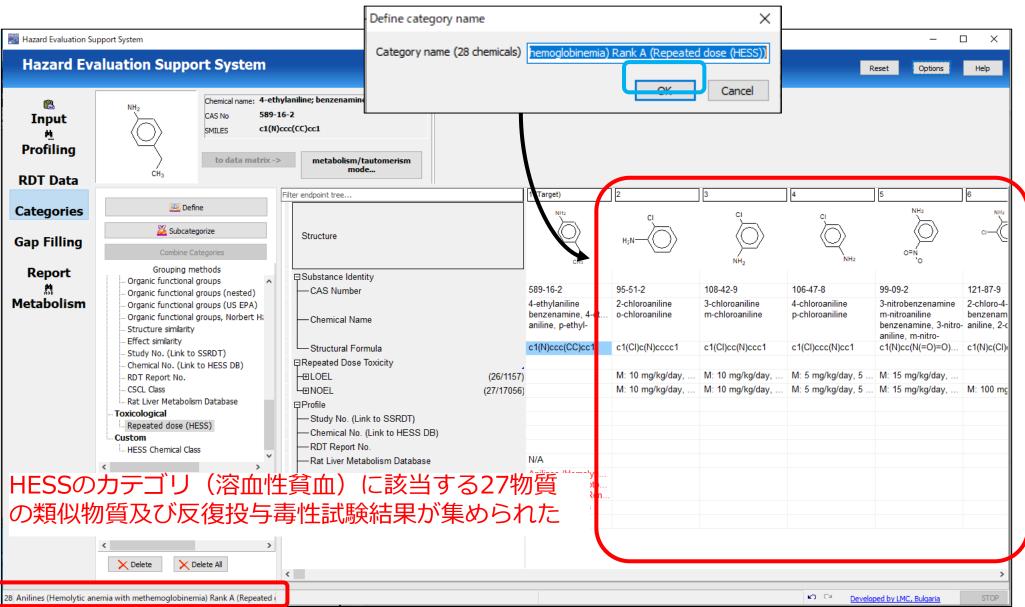


Target Chemicalの類似物質検索(1)



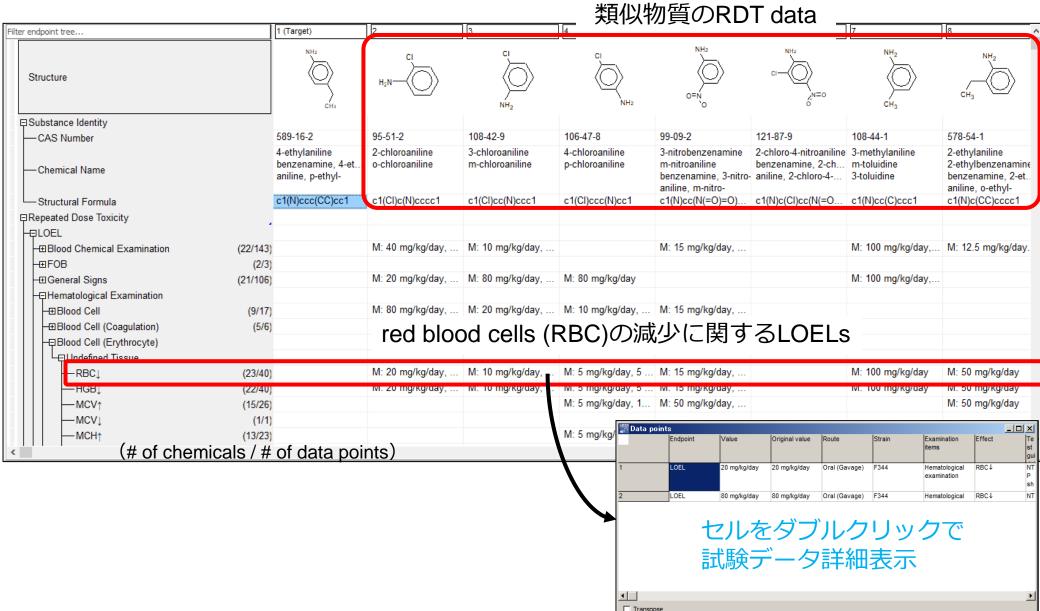


Target Chemicalの類似物質検索(2)



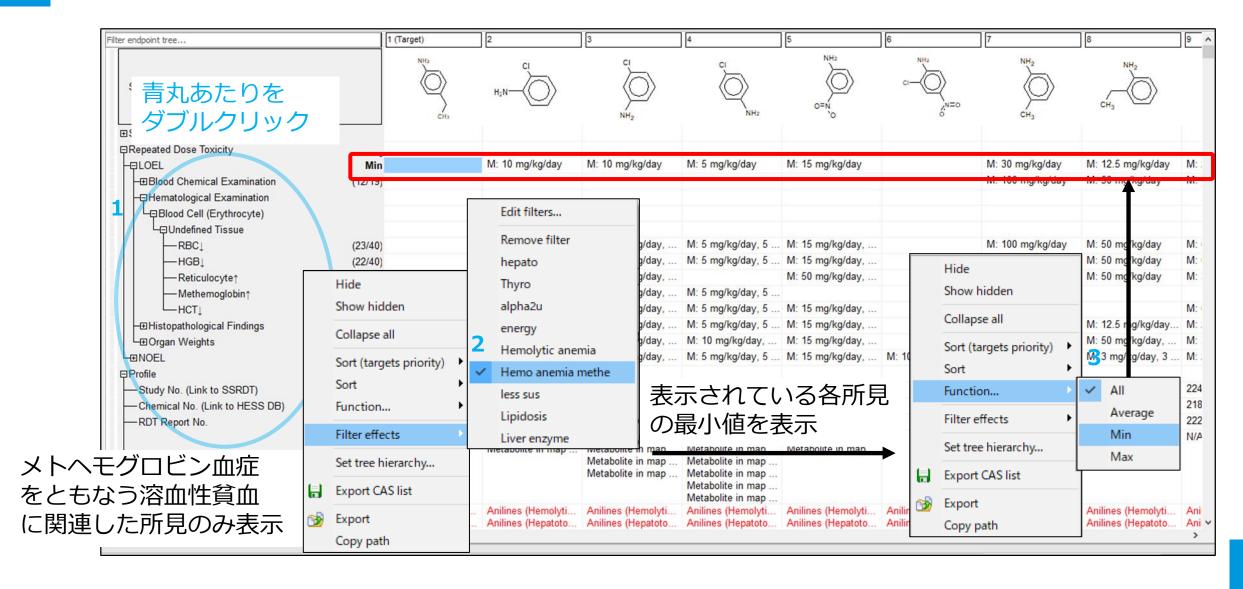


類似物質のLOELs/NOELs



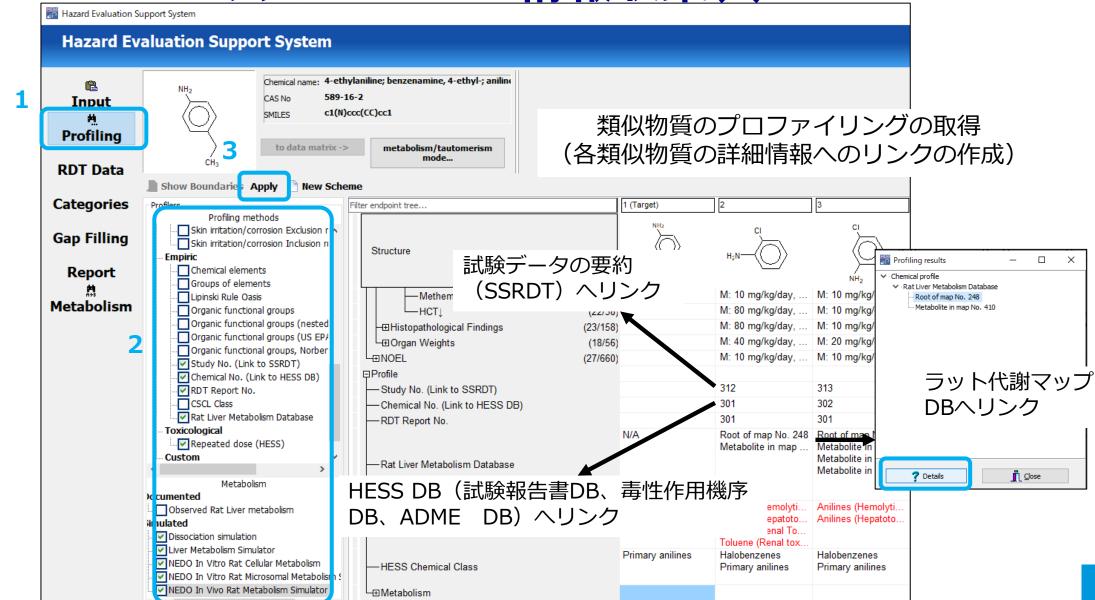


LOELs/NOELsを予測するエンドポイントの選択





エキスパートジャッジのための情報収集(1)



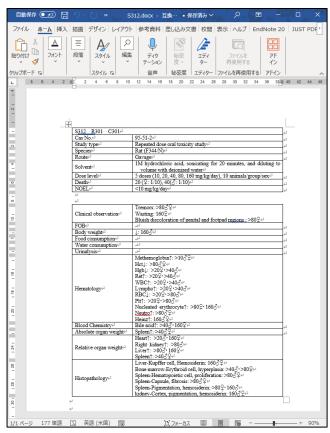


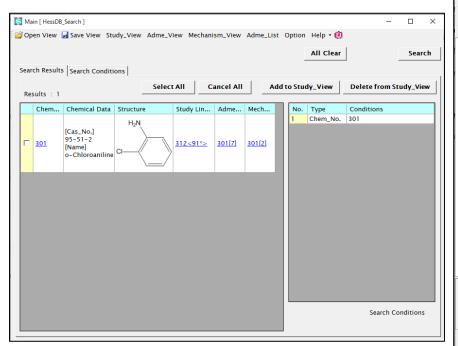
エキスパートジャッジのための情報収集(2)

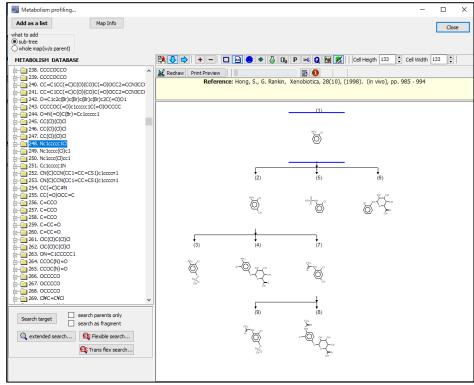
試験データの要約(SSRDT)

HESS DB→詳細は次の講義にて

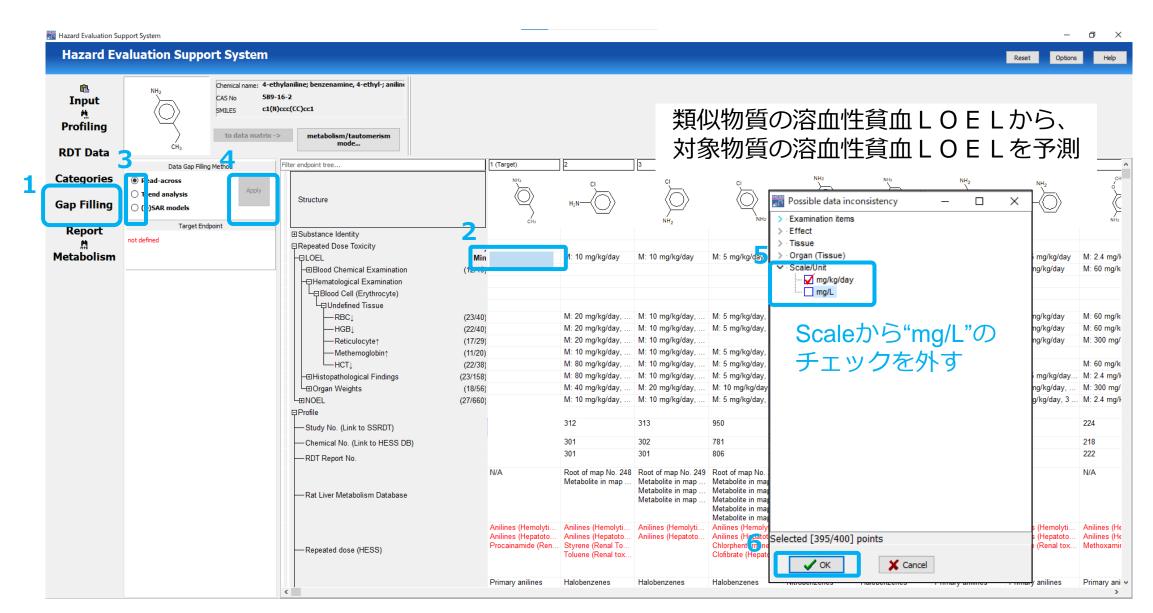
ラット代謝マップDB





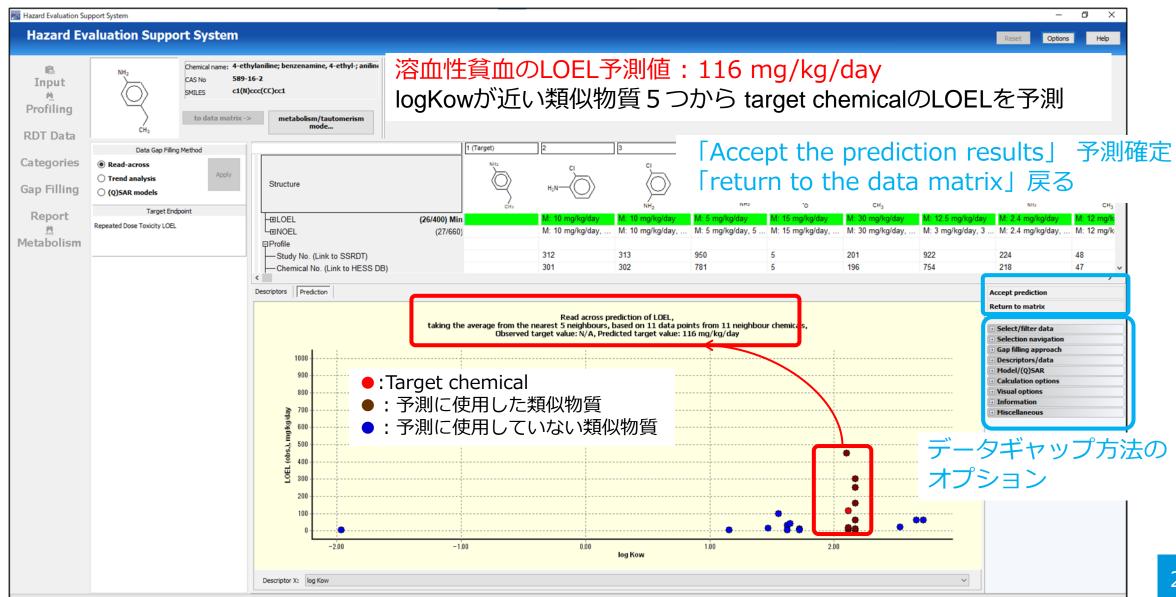


Read Acrossによるデータギャップ



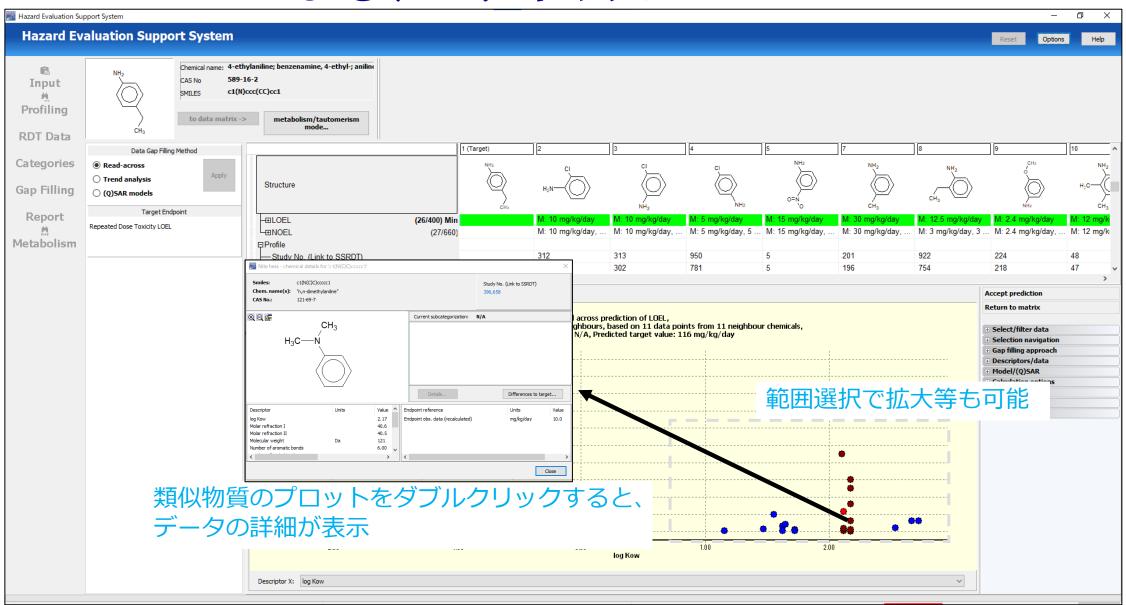


Read Acrossによるデータギャップ





Read Acrossによるデータギャップ



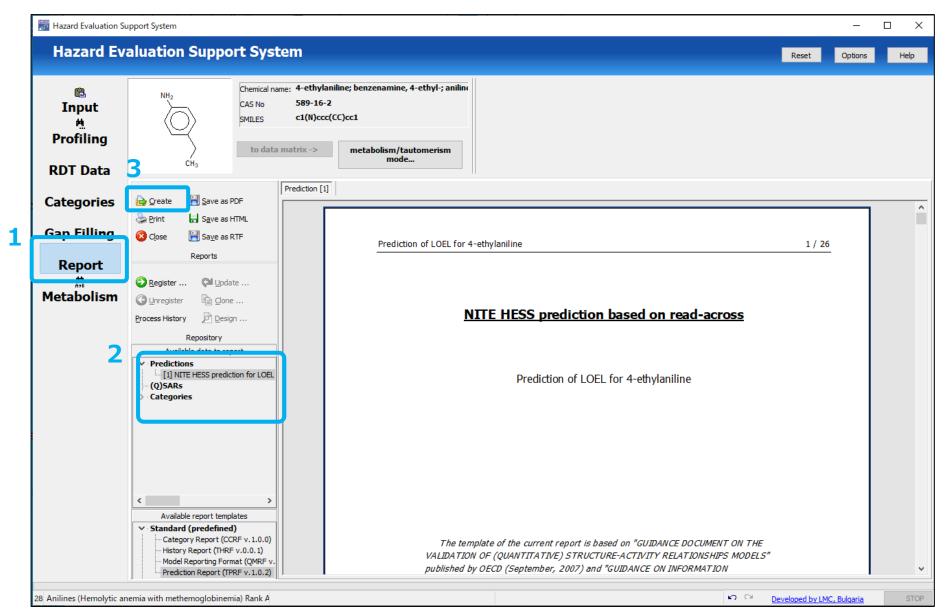


詳細予測

専門家の知見や、HESS が提示する様々な関連情報を吟味することにより、HESS が提示したカテゴリーの妥当性を詳細に確認し、必要に応じて、カテゴリーの修正 や組み直しを行った上で評価する。

- 1. 各試験データの毒性の内容の吟味 (その他の(重篤な)毒性の影響、死亡や回復期の情報など)
- 2. 試験条件の絞り込み (投与量、ラット種など)
- 3. 代謝・メカニズムの情報の吟味 (代謝活性、プロファイラー情報以外のメカニズム情報の探索など)
- 4. データギャップ補完に使用する所見の選定、算出方法 (評価したい毒性に関連した所見か、軸の設定や類似物質数の変更など)

Report作成





HESSの入手方法と使い方マニュアル



NITEのHPからユーザー登録
http://www.nite.go.jp/chem/qsar/hess_01.html (検索キーワード"NITE", "HESS")

→
登録メールアドレスにHESS及びダウンロードURLページが記載されたメールが送付される。

→
HESS及びHESS DBのインストールファイル一式を無料でダウンロード!

以下の動画講習/学習教材サイトにて、常時、動画説明等を見ることができます。 https://www.nite.go.jp/chem/qsar/ReadAcrossTraining.html